

一人でも元気になれるお役に立てたら

# 乳がんで母を亡くした子へ

乳がん患者の心のケアを長年行っている乳がんカウンセリ  
ングin和歌山の岡本久子さん(59) Ⅱ和歌山市和歌浦西Ⅱ  
が、母親を乳がんで亡くした子どもと語り合う「プレストキ  
ッズ・スマイル」を発足させる。12月13日に県民文化会館  
で、第8回講演会と発足会「何でも話をうつく리스マス」を開  
催。助メンタルケア協会の精神対話士でもある岡本さんは、  
「母親代わりはできませんが、未来ある子どもが一人でも元  
気になれるお役に立てたい」と話している。

岡本さん自身21年前みや不安を抱える人だから自宅での無料電  
に乳がんの手術を受ちときさまな活動を話相談と、大阪の病院  
は、18年前から同じ悩展開してきた。6年前で医師・看護師らと



「大切な方を亡くされた思いを受けとめたい」と岡本さん

## プレストキッズ・スマイル12月発足へ

チームを組んでの患者でも、家族とで  
相談を週1回続けていも、いびいびいびい  
る。

活動を続けると  
気になり始めたのが、  
母親を乳がんで亡くし  
た幼児や小中学生たち  
の存在。乳がん患者は  
女性の20人に1人と急  
増しており、20代、30  
代に多い。重く微妙な  
問題だけに自分にてき  
るかどためらったが、  
18年間の多くの出会い  
や、メンタルケア協会  
が背中を押してくれた  
という。

「愚痴でも何でもい  
いんです。第三者だか  
らこそ率直に思いをぶ  
つけられるのではない  
かと、励ましおぼさ  
ん最後の仕事にと決  
意しました。子どもた  
ちが思春期を上手に乗  
り越えてくれるよう  
に、全力で取り組ませ  
ていきたい。一人

わかやま wakayama

# 新報

SHIMPO

11月 23日  
日曜日

2008年(平成20年)第18769号  
(日曜・祝日・休日翌日休刊)

彫刻らんま  
額、衝立、看板製造直売  
お手頃価格から高級品まで在庫豊富。

## 才駒工藝

和歌山市南材木町(大橋東詰)  
TEL 422-5445 http://saikoma.jp/

発行所 株式会社和歌山新報社

〒640-8043 和歌山市福町49番 和歌山中橋ビル4階  
電話(073)433-6111(代表) (編集部) 電話(073)433-6114  
FAX(073)433-5440 FAX(073)433-9320  
URL http://www.wakayashimpo.co.jp/ (営業部) 電話(073)433-6113  
Eメール shimpo@titan.ocn.ne.jp FAX(073)433-8111  
郵便振替口座 0920-0-318834番 (販売部) 電話(073)433-6112

(わかやま新報販売所)  
和歌山市(紀の川以南) 電話(073)474-7288  
上記以外の地域 電話(073)433-6112 本社販売部

月々の購読料 1800円(1部売り80円)

【休刊のお知らせ】25日付は休刊にさ  
せていただきます。 和歌山新報社

ださい」と呼びかけて大阪プレストクリニ  
ックの芝英一院長が話  
す。ごちかも参加無  
料。定員各30人。  
申し込み・問い合わせ  
せは岡本さん(07  
4時からは毎年開いて  
いる乳がん体験者対象  
の講演会。「最新の乳  
がん標準治療」につい  
ては午後4時。